

令和元～2年度 長期総合計画 検証シート

施策No. 施策名		施策44 地域の特性を活かした景観の形成				主管	都市づくり部 計画調整課	
施策の概要	基本目標	基本目標4 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現						
	10年後の 目指す姿	●文化、歴史、自然などの地域特性を活かしたまちづくりが進み、地域への愛着、誇りが持てる良好な景観が形成されています。						
	主な取り組み	① 景観まちづくりの推進		③ 隅田公園の魅力向上				
*施策を構成する行政計画事業の進捗は、裏面「行政計画事業」を参照。								
施策の執行状況	施策の指標	指標名	策定時 (2018年度末)	R元(2019) 年度末	R2(2020) 年度末	目標		出典
		まちの景観について関心がある区民の割合	—	84%	— (調査未実施)	2023年度末	2028年度末	
検証結果	(施策及び施策の指標の実績、構成する行政計画事業の進捗・成果・課題等を踏まえ、長期総合計画一部修正(ポストコロナ)を見据えて取り組みを検証)							
	A	<p><施策の概要> 景観まちづくりの推進及び地域主体の景観まちづくりについては、オンライン等を活用しながら景観事前協議を実施しているほか、ホームページで絵画コンクールの実績を公開するなど景観まちづくりに関する意識の醸成を図っている。また、世界文化遺産である国立西洋美術館の周辺環境との調和・保全に努めるとともに、隅田公園の魅力向上のため、樹勢回復作業等の取り組みを行い、桜の名所としての良好な景観の維持を図っている。</p>						
	A 順調である B 概ね順調である C 順調でない	<p><施策の指標> ・まちの景観について関心がある区民の割合(O) 目標達成に向けて順調に推移している。今後も目標の達成に向けて、「景観まちづくりの推進」等の各行政計画事業に取り組んでいく。</p> <p><今後の方向性> ・ポストコロナを見据え、オンライン活用を取り入れながら良好な景観形成に関する意識の啓発を図るほか、引き続き世界文化遺産と周辺環境との調和・保全に努めつつ、景観に配慮した街並み整備を進めていく。 ・景観計画策定以降約10年が経過しており、各地区におけるまちづくりの進捗や都市計画マスタープランの改定等、本区におけるまちの景観を取り巻く環境が変化していることから、これまでの景観まちづくりに関する取り組みの課題を整理した上で、景観計画改定の検討を進めていく。</p>						
施策を構成する行政計画事業の進捗								
	(事業No.) 行政計画事業名	所管課	本事業の取り組み (平成30年度事業量)	計画事業量	年度別 事業計画	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (実績は見込み)
1	景観まちづくり推進	計画調整課 建築課	景観形成の誘導 (実施)	実施	目標	実施	実施	実施
		計画調整課 建築課	景観まちづくりの普及啓発 (実施)		実績	実施	実施	一部実施
2	隅田公園サクラ再生	公園課	サクラ再生 (実施)	実施	目標	実施	実施	実施
					実績	実施	実施	実施
3	世界文化遺産継承<再掲>	都市交流課	国立西洋美術館の世界文化遺産継承・周辺環境の保全 (実施)	実施	目標	実施	実施	実施
		都市交流課	世界文化遺産登録5周年記念事業 (-)		実績	—	—	—
4	無電柱化の推進<再掲>	土木課	無電柱化検討 (実施)	実施	目標	実施	実施	実施
					実績	実施	実施	実施